

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2020年1月7日

東京都作業部会確認年月日 2020年1月15日

(契約変更に伴う再確認日 2020年10月14日)

事業名 仮設電源/無停電電源装置 (UPS)

案件名 大型無停電電源装置運用管理業務委託 / 大型無停電電源装置運用管理業務委託に伴う宿泊料 / 大型無停電電源装置運用管理業務委託に伴う航空券

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意の通り、当該事業は会場関係の「エネルギーのインフラの整備」であり、都有施設、地方会場の経費については、都の負担。 パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく） (2020年9月24日 契約変更に伴う追記) なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	大枠の合意において、経費分担にかかわらず、エネルギーのインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。	
経費の内容等が 必要性(必要な内容、機能かなど)、 効率性(適正な規模、単価かなど)、 納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	必要性 開催都市契約 大会運営要件で求められているエネルギー要件を満たすための設備整備に伴う保守管理である。 (2020年9月24日 契約変更に伴う追記) <ul style="list-style-type: none"> 今回の契約変更は、延期に伴い、21年大会時のオペレーションに備えるものである。作業員確保や作業員の教育を行う必要があるため、現時点で手続きを進める必要がある。 	
	効率性 <ul style="list-style-type: none"> 会場数や会場場所を考慮して、適正な人数となっている。 競技会場をまとめて一括に発注して運用することで効率的な発注となっている。 組織委員会が他 FA も含めて一括で手配している宿を利用することで効率的である。 (2020年9月24日 契約変更に伴う追記) <ul style="list-style-type: none"> 追加となる内容を精査して、主に作業員の教育費用となっている。教育受講人数について適正な規模となっている。 	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算内に収まる。 ・ 発注価格の合計と、公共積算により試算した価格を比較することで、妥当性を確認している。 ・ 航空券は、スポンサーによる複数見積から最安の価格を採用する予定である。 ・ 宿は組織委員会（ACMのFA）が発注している宿を利用することで、価格を抑えて手配ができています。 <p style="color: red;">（2020年9月24日 契約変更に伴う追記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の変更に伴う増額は、公共積算により試算した価格を比較することで、妥当性を確認している。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大枠の合意で公費負担とされた、都有施設における「エネルギーのインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考えます。 ・ V4 予算内。 <p style="color: red;">（2020年9月24日 契約変更に伴う追記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委員会の負担とする。 		

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。